



# 石海小学校だより

校訓「あかるく なかよく 力いっぱい」

太子町立石海小学校  
NO.10 令和2年1月20日  
発行者：校長 久保田 昌之

## あけましておめでとうございます



2020年(令和2年)が幕を開けました。今年の干支は、庚子(かのえね)で、可能性のある未来に向かって伸びる年であると言われています。石海っ子一人一人が自分の能力を発揮して伸びることができるように、教職員がワンチームとなって指導の充実に努めていきます。保護者・地域の皆様には、昨年同様に温かいご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

また、2020年には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。どんな感動のドラマがあるか楽しみです。世界各国の選手の活躍する姿に触発されて、子どもたちにも大きな夢を思い描いてもらいたいと思います。



## 火事の恐ろしさ 命の尊さを実感！

4年生は、太子消防署員の方にご指導いただき、「防火・救急まめ講座」を受講しました。まず、スライドショーで火事の原因や様子を学習した後、コンセントの埃による引火、ガス漏れによる爆発の実験を見て、子どもたちは驚きの声を上げていました。

次に、救急隊員から、脈拍の測り方や止血方法を教わりました。命を守るために何をすべきかを考える良い機会となりました。

## おいしかった「なべ給食」

5年生は、クラスごとに給食特別メニューの「寄せ鍋」をいただきました。



だしを煮立ててから、ミートボール、豚肉、野菜、うどん等を自分たちで鍋に入れていき、みんなで上手に分けておいしくいただきました。寒い時期なので、熱々の寄せ鍋で、心も体もポッカポカに温まりました。

## 重厚な趣のある塀・門扉完成

8月から工事が始まった塀と門扉が完成しました。塀に使用されている石材は、宝殿石(龜山石)で、高砂市宝殿付近から産出する石です。この石材は、美しく耐久性に富んでいるため、姫路城や国会議事堂にも使われています。



熟練の石工さんが、形が違う石を一枚ずつパズルのように組み合わせて完成させました。さらに、塀の間に土を入れて植栽する予定です。

## 私たちは、1.17を忘れません

阪神・淡路大震災から25年を迎えました。1月17日(金)の大休みに、地震が発生した想定で避難訓練を行いました。休み時間だったために、とまどった子もいましたが、みんな安全に避難することができました。訓練後の講話の中で、震災当時の様子と避難所にボランティアに行った体験を話すと、子どもたちは真剣に聞いていました。震災の記憶の風化を防ぐために、「伝え」「活かし」「備える」防災教育を推進していきます。



## ☆☆☆バザーにご協力ありがとうございました☆☆☆

1月19日(日)に、PTAバザーが行われました。たくさんの方にご来校いただき、大盛況に終えることができました。バザーの企画・運営にご協力いただいたPTA役員の皆様、バザーの物品を提供くださった保護者・地域の皆様、ご協力ありがとうございました。バザーの貴重な売上金は、子どもたちの教育活動に役立てていきます。



\*\*\*\*\* 教室の窓 \*\*\*\*\*

校長先生も記事の中で話されていますが、私も震災後、避難所となった神戸の中学校に復興支援ボランティアに行った一人です。私は当時、新任1年目でしたので、私が揖龍地区からボランティアに行った教師の最後の世代です。子どもたちだけでなく、若い世代の教師にもその時のことを語り継いでいかなければならないと思います。

(文責：教頭 中農 和広)